

吉賀町教育振興計画（第2期）（案）パブリックコメントにおける意見及び回答

吉賀町教育振興計画（第2期）（案）につきまして貴重な意見をいただきました。この「意見の内容」に加えて、「教育委員会の考え方」「決定した計画」を検討しましたので、以下のとおり報告いたします。なお、いただいた意見を参考として、吉賀町教育委員会会議において再検討の上で計画の決定を行う予定です。

意見箇所	町民からの意見（要約）	回答
全体構造について	国の教育振興基本計画及び島根県教育振興基本計画との整合性を理解していませんが、ある程度は同調した活動が必要と思ひ、基本フレームや重点課題は同様に展開されたうえで、吉賀町独自の視点を加味された方が良いかと思ひます。	法令（教育基本法）の規定に基づき、国・県の計画や計画規定内容について各委員会職員により確認の上、吉賀町独自の視点も踏まえて計画案を作成しています。
基本理念について	「吉賀町を支える人材育成」はかなり限定した見方であると思ひます。本来は「世界に羽ばたく未来志向で心豊かな人材の育成」だと思ひます。島根県が示しているような「未来にはばたく心豊かな人づくり」が本来の様に思ひます。	国・県の基本理念を踏まえ、吉賀町における基本理念として掲げたものです。吉賀町の発展に協力できる人材に育つことを願ひ規定しています。
計画の見直し方法について	現計画に対する見直しをどう総括され、今回の計画にどのように反映したかが町民にも判るように提示して頂きたい。	計画の進捗状況の把握並びに見直しに対する指導及び助言を行う組織である「吉賀町教育振興計画推進協議会」により現計画の施策ごとの評価を行っており、その内容を踏まえて計画案を作成しています。（評価の概要については町ホームページ掲載）
責任者の設定について	各重点目標に対する実行責任者（又は部署）が不明確ですので、各テーマ別に設定をお願いします。その中で ・活力ある学校づくりを「学校教育」 ・地域を支える人づくりを「社会教育」	重点目標の実行責任者につきましては、学校教育グループ、社会教育グループで概ね区分けできますが、その両方にまたがるものも多くあり、計画中には規定していません。施策ごとに担当者を決定して、施策の実行と評価を行っていくことを予定し

	<p>・サクラマスを「地域教育（仮）」と区分明記した方が理解しやすく展開もしやすいように思います。</p>	<p>ています。</p>
<p>計画の進捗状況の検証体制について</p>	<p>令和8年度までの計画に対する年度毎の進捗状況が町民にわかるような仕組みの構築をお願いします。</p>	<p>計画の進捗状況の把握並びに見直しに対する指導及び助言を行う組織である「吉賀町教育振興計画推進協議会」を設置したうえで進捗状況を検証し、公表していくことを予定しています。</p>
<p>指標について</p>	<p>単に講演会等の回数などではなく、それによる期待成果を指標にして頂きたい。</p>	<p>指標の設定につきましては、教育施策の成果が必ずしも目に見えるものばかりでないため、施策ごとの計画目標を別途設けて進捗状況や成果について評価を行っていくことを予定しています。そのため計画中の指標は具体的な目に見えるものを設定しています。</p>
<p>国際感覚について</p>	<p>語学や外国人交流などの視点も是非加味して欲しい。</p>	<p>重点目標の「他者を思いやる意識の涵養」の方策「多文化共生社会の実現」のところで関連する内容を規定しています。</p>
<p>計画の対象者拡大について</p>	<p>幼児と青年に対する教育視点が無かったように思いますので検討をお願いします。</p>	<p>当該計画は基本方針にありますように「すべての人と地域が子どもの学びと育ちに関わる全町教育」を目指すものとなり、保育所を含む幼児期や青年期等すべての年代における教育施策を考慮して規定しています。</p>
<p>学習環境の構築と支援体制の整備について</p>	<p>教師勤務時間は通常業務だけでも大変な状況下の中で、本計画遂行により更に負担になると推察します。加えて、更なる力量アップも要求される中で勤務時間の効率化を盛り込むようご検討頂きたい。</p>	<p>重点目標の「学びに適した学習環境の構築」の方策「活力ある学校になるための条件整備」のところで関連する内容を規定しています。</p>

活力ある学校づくりについて	学校教育は全体的に平等教育の志向が原則と思いますが、好きな分野、個人的に長けている分野を有する児童に対しては支援ができる体制を加味して欲しい。	重点目標の「豊かな心の育成」の方策「地域社会の一員であることの自覚」や重点目標の「特別支援教育の充実」の方策「一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の充実」及び「社会的・職業的自立を促進する取り組み」のところで関連する内容を規定しています。
サクラマスプロジェクトの推進について	国内外の吉賀町出身者やご縁ある方のネットワークを構築して、吉賀町発展に寄与してもらえる仕組みづくりをお願いしたい。	現在本町を離れている方とのネットワーク構築は、サクラマスプロジェクトの基本方針を達成するうえで大変重要であると考えます。その足掛かりとして、SNS等を活用し、積極的な情報発信を行っていくことを予定しています。
地域を支える人づくりについて	町内に60代以上の元気な方の活躍の場とその為のスキル支援をお願いしたい。技術や体力はまだあるのに何もせずに暮らしておられる方が少なからず居られ、活躍の場を提供できる仕組みを作って頂きたい。	重点目標の「豊かな学び・体験の充実」の方策「ふるさと教育の充実」並びに重点目標「自ら学び、地域の課題を解決しようとする人づくり」の方策「公民館活動の充実」のところで地域人材の育成やネットワーク化について規定しています。
活力ある学校づくりについて	ICT教育の推進に対して、字を書く機会の減少や考えをまとめる時間の確保などの懸念事項の検討が必要。また電磁波アレルギーに対する検討が必要。	重点目標の「確かな学力の定着と向上」の方策「ICT教育の推進と学校図書館の充実・活用」の具体策「学校情報担当者会議」によるICT教育の推進の検討により検討していくことを予定しています。
人権教育の推進について	多文化、多言語、多様な考え方についての柔軟な受け入れについて学ぶべきである。	重点目標の「他者を思いやる意識の涵養」の方策「多文化共生社会の実現」のところで関連する内容を規定しています。
活力ある学校づくりについて	部活動については、スポーツだけでなく、文化部についても検討が必要。	重点目標の「健やかな体づくり」の方策「部活動・地域スポーツ活動を通じた体づくり」の具体策「部活動に対する意識調査」により検討していくことを予定しています。

計画全般について	学校という場を選択しない子供もいていいので、そういう子供たちのことも含めた計画にしていきたい。	関係法令において小学校、中学校における児童生徒の就学義務が規定されているため、原則就学を想定した計画内容となっておりますが、ご意見のような子供がいた場合は、子供の状況や発達の段階に応じた適切な指導と必要な支援を、関係機関等との連携により行っていきます。また、重点目標の「サクラマスプロジェクトの推進」や「地域を支える人づくり」の各方策により支援を行っていきます。
活力ある学校づくりについて	授業の質の充実とあるが、授業を受けることが困難な子供たちへの課題解決の方向がよく分からない。子供たちの現状からもう一度検討し直してほしい。	授業の質の充実に関する方策は、学校で行うべき確かな学力の育成に関する施策となっており、ご指摘にある授業を受けることが困難な子供たちへの課題解決については、重点目標の「特別支援教育の充実」にある各方策により課題解決への支援を行っていきます。
活力ある学校づくりについて	家庭学習の充実と読書の習慣化について、学校・家庭で大人の言うことを聞こうとしない子どもが増えているように感じる。子どもの話を、余裕をもってじっくり聞いて、一緒に考えることのできる時間を確保するために、専科教員の配置、子どもと一緒に考え成長する大人集団の組織化、勉強勉強といわなくてもよい学びのあり方、広範囲の問題がある学力調査をやめる、解らないことをいくらでも聞くことができる環境、友達や家族の良いところ・うれしかったことを毎日表現することができる環境づくりのため、聞き取り調査、困難を抱える子どもと向き合う取り組みを学び広げてほしい。	学力調査の取りやめについては、子どもたちの学力を確認し、育成する重要な取り組みであることから、検討していませんが、その他の視点については、重点目標の「学びに適した学習環境の構築」及び「支援体制の整備」にある各方策により取り組みを行っていきます。
人権教育について	人権教育になぜ同和問題が入るのか。町内で同和問題が起因した問題があるか。	同和問題は他の様々な人権問題と同様、現代社会に根を張った問題であり、同和問題に起因する課題のあるなしに関わらず、正しい歴史的認識と人権意識を身に着けることが、ひとりひと

		りが大事にされる優れた人権感覚にあふれるまちづくりに重要であると考え、学校教育・社会教育双方で取り組んでいきます。
活力ある学校づくりについて	現代の児童、生徒に伝えなければならないのは、第1に自分を大切にすることだと思います。積極的な性教育と人間の体の仕組みを深く学ぶことが弱くなっているように感じます。健康な母体を守るための必要な知識を性別に関係なく学ぶことを具体的に記してほしい。	全小中学校において性に関する指導の全体計画を策定したうえで、組織的な指導を行っており、教科指導においても保健体育の分野で学習指導要領に基づく教育が行われています。以上のことから学校における適切な教育的指導が行われており、計画への規定は行っていません。
活力ある学校づくりについて	家庭教育の安定化のため、スクールソーシャルワーカー制度の充実とあります。充実の度合いを指標の中に盛り込めないか。	当該制度の充実内容については、計画目標を別途設けて進捗状況や成果について評価を行っていくことを予定しています。そのため現段階での指標の設定は行っていません。
活力ある学校づくりについて	複式学級になったり、解消したりしない学級編制を項目に入れて、教員の負担軽減することを規定してほしい。	複式学級の編制にあつては、島根県教育委員会で小学校、中学校における独自の学級編制基準が定められており、中学校では8人以下であっても単式学級となりますが、小学校では1・2年生は8人以下の場合、3・4年生と5・6年生は16人以下の場合は複式学級となるため、町独自の学級編制については困難であると考えます。
学びに適した学習環境の構築について	部材が今にも落ちてきそうなプールの改修について項目立てしてほしい。	重点目標の「学びに適した学習環境の構築」の方策「学校配置及び学校施設整備」のところで関連する内容を規定しています。
学びに適した学習環境の構築について	極小規模校への対応として、学校に入学する前に転居する保護者さんもいます。そうならないような理解を高めることを計画の中で示すことができないか。	すべての学校において重点目標に掲げる「活力ある学校」になるための学習環境の構築を目指していきます。そのため人数の違いはあっても他の学校と変わりのない地域と一体となった学習環境の提供を行う計画内容となっています。その上で入学す

		る学校を保護者さんが転居により選択することはやむを得ないと考えます。
活力ある学校づくりについて	授業以外で平日に 1 時間以上勉強する生徒の割合が低いことの理由が見えません。原因をはっきりさせない対策は効果も薄いため、知恵を絞ることに力を注げないか。	重点目標の「確かな学力の育成」の方策「授業の質の充実」のところで「島根県学力調査及び吉賀町の学力調査」の結果の分析による状況把握とその対策の実施について規定しています。
地域を支える人づくりについて	地域の課題解決も大事ですが、自らの課題を整理し長期のタイムスケジュールづくりができる支援体制のために人が必要です。	地域課題を解決し、地域づくりを行うのは“人”であります。重点目標の「自ら学び、地域の課題を解決しようとする人づくり」にある各方策により取り組みを公民館と連携・協働しながら行い、地域づくりを担う人づくりを推進していきます。
支援体制の整備について	新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生したときに、「休校」となる場合があります。通常でない事態が生じたときの対応について、基本的な考えだけでも入れることはできないか。	新型コロナウイルス感染症に関する休校判断に関しては、国のガイドラインに沿って、保健所への相談や学校医の助言を踏まえて、各学校と地域実態やケース内容を総合的に考慮したうえで休校判断を行うこととなります。またそれ以外の非常事態による休校判断の場合も同様に個々の態様により判断する必要があるため、計画への規定は行っていません。
支援体制の整備について	安全な学校に子どもたちの安心を加えるため、相談体制の充実と突然の生理の時トイレに駆け込めば生理用品がある環境をつくることを提案します。	トイレへの生理用品の設置については、各小中学校と協議調整中です。また、現時点で子どもたちの安全・安心に関しては、学校保健安全法等の法令に基づき、学校における適切な教育的指導や相談が行われているため、計画への規定は行っていません。
地域を支える人づくりについて	男女共同参画を発展させて、ジェンダー平等という性別に関わらない表現のほうが子どもたちをより大事にしているように感じます。	未来の担い手である子どもたちへの視点はもちろん重要ですが、今を生きる大人の学びの場を創出することも重要だと考えます。そのことから、現在までのところで広く浸透している「男女共同参画」という表記をしています。

